

参考：本書の作成経緯について

日本労働研究機構（労働政策研究・研修機構の前身）では、労働関係の情報を広く提供することを目的として、「加工指標開発に関する基礎研究委員会」（座長神戸大学大学院経済学研究科三谷直紀教授）を設置し、加工指標の提供に関する基礎的な研究を実施した（平成9年度）。そこでは、各方面へのヒアリングを行い、利用ニーズの高い指標を検討するとともに、政府の各種白書等をサーベイし、一般に広く提供すべきと考えられる加工指標を整理した。その結果を受け、提供すべきと判断された加工指標について実際の開発作業が行われ、利用者のニーズにあった加工指標の作成がなされてきた。本書は、以上の経緯を受け、従来以上にわかりやすく有益な情報提供を目指して、提供すべき加工指標の項目を検討・吟味し、作成したものである。

索引

[い]

引退年齢	239, 250, 256, 259, 267
引退年齢の国際比較	258

[か]

開業率	139
会社紹介転職者割合	123
過剰雇用	100, 104
課長	224, 228, 233
学歴別失業率	58

[き]

均衡失業率	81, 88, 236
勤続年数	129, 161, 200, 213, 240
勤労者生活指標	234
継続就業率	132

[け]

欠員	81, 88
欠員率	81, 88

[こ]

構造的・摩擦的失業	81, 88
呼称パート	33
雇用形態別失業率	55
雇用失業率	50, 53, 82, 88
雇用者の平均引退年齢	256
雇用人員判断 D.I.	105
雇用喪失	139, 141
雇用創出	139, 141
雇用調整	100

[さ]

産業間転出割合	117
産業別雇用失業率	50

[し]

資産格差	219
失業期間	60, 63, 75
失業継続期間	63, 290
失業指標	50, 60, 75
失業者世帯	93
失業世帯	95
失業の深刻度	70, 75
失業頻度	63
就業分野の性差指数	40
出向労働者比率	44
生涯所得	216
生涯時間当たり賃金	271
生涯賃金	216, 239, 271
生涯に関する指標	239
生涯労働時間	259, 267, 271
職業間転出割合	117
職業別雇用失業率	53
職階	224
所定内給与	26, 148, 161, 193, 250
所得格差	219
所得の不平等度	219
所得変動	209
新規開業による雇用増	144
事業主都合離職率	123
自己都合離職率	123
ジニ係数	219, 222

需要不足失業	81, 88
女性役職者割合	232
[そ]	
損失所得を考慮した完全失業者数	70
[た]	
退職	239
退職金	203, 206, 213
退職金減少率	213
退職金の学歴間格差	203
退職金の規模間格差	206
単身赴任割合	46
短時間労働者	33, 193
ダンカン指数	42
男女間賃金格差	197
[ち]	
中途採用者	200, 213, 216
長期失業指標	60
長期失業者割合	60
長期失業率	60
賃金格差	148, 161, 193, 200
賃金コスト指数	17
賃金変動 D.I.	209
[て]	
定着率	126
転出割合	117
転職希望率	114
転職による生涯所得減少率	216
転職による退職金減少率	213
転職による賃金変動 D.I.	209
転職率	107

ディビジア指数	28, 32, 280
ディビジア労働投入量	29, 278
ディフュージョン・インデックス (D.I.)	209
[と]	
倒産発生率	146
同一企業への定着率	126
同一コーホートの生涯労働時間	267
同一コーホートの入職率・継続就業率	132
[に]	
入職率	132
[は]	
廃業率	139
パートタイム労働者	33, 36, 193
パートタイム労働者の労働費用	36
パートタイム労働者比率	33
パート労働法	33
[ひ]	
標準労働者	239
[ふ]	
フロー確率行列	65, 282, 287
フローデータ	65
部下の数	228
部長	224, 228, 233
部長・課長比率	224
[へ]	
平均引退年齢	256, 269
平均勤続年数	135
[ま]	
摩擦的失業	81, 88
マンアワー	10

[み]	
ミスマッチ	81, 90
ミスマッチ指標	90
[ゆ]	
有配偶単身赴任者	46, 48
UV 曲線	84, 88
UV 分析	81, 88
U 1 ～ U 6	75, 79
[ら]	
ラスパイレス賃金指数	161
[り]	
離職率	123
流動化	83, 107
[れ]	
レイオフ	10
[ろ]	
労働移動関連指標	107
労働生産性指数	14
労働投入量指数	10
労働の質指標	26
労働の質を考慮した就業者数	28
労働費用	36
労働分配率	20, 23
労働力配分係数	120
ローレンツ曲線	219
[わ]	
ワークシェアリング	10